電算・情報関係部課長会議議事録

日　時　　平成２６年７月１８日（木）午後１時３０分
場　所　　愛知県自治センター４階　大会議室
出席者　　愛知県　地域振興部情報企画課
　　インターネット運用Ｇ　課長補佐　木野好彦
　　主　　事　新井恭平
　　市　名古屋市総務局行政改革推進部
　　情報課推進課長　　長谷川勝人　始め３８名
　　市長会事務局　行政係長　石川浩司　始め３名

１　開　　会

（事務局）

本日は知立市から事前に議題が提出されています。回答の一覧を取りまとめたものを資料で用意しています。本日はこの議題について協議していきます。

２　あいさつ

（愛知県地域振興部情報企画課長補佐）

昨年度までは、あいち電子自治体推進協議会など地域情報化を担当していましたが、今年からは愛知県ホームページ、県の施設予約、今回のテーマであるＧＩＳ、最近話題のオープンデータなどを担当しています。

県の統合型ＧＩＳも今年度更新の時期を迎えており、現在入札の手続きを進めている状況です。本日はＧＩＳ運用状況等の議論があるということで参考にさせていただきたいと思います。

３　議長選出

（事務局）

前年度の会議において、市制施行順の知多市が議長を務めることが決まっています。

４　議　　題

（１）統合型ＧＩＳについて

（趣旨説明：知立市）

現在７課が独自にＧＩＳシステムを導入している、そのうち４課が同じベンダのシステムを導入しているため、同じ機器で管理することによる経費節減効果と、公開型にして住民サービスの向上につなげることを目的として事業計画を立てて進めている。

情報共有しようとしているのは道路幅員図、認定路線図、市道全図、都市計画基本図、白図、農業振興区域図、事故箇所、犯罪発生箇所、災害時避難所、避難所経路、ごみ集積所図、指定道路図、上下水配管図であり、一部は市民向けにも公開しようとしている。

仕様としては、庁内外で２つのサーバーをＷＥＢベースで原課の端末から更新をしようと考えている。今年度はデータ抽出で１８３万予算計上して、２７年度の５月から運用を行うために作業を進めている。

本日は事前に提出した３点をお伺いしたいが、ポイントとしては原課との調整をどのように行ったかをお伺いしたい。今回は７課が情報公開を行っていくことを考えているので、原課が業者と勝手に話し合ってしまう部分があるので、情報サイドとしてどのようにかかわるのがベストなのかということをお伺いしたいのでよろしくお願いします。

（議長）

各市の回答については配布されている資料でご確認いただきまして、原課との調整をどのようにしたか、導入されている市の方で何かご発言いただきたい。

（大府市）

平成１６年度に統合型ＧＩＳの研究会で検討して翌年度に稼働し、その後他システムの要望もあり再度検討を行い２４年度に現行システムが稼働しています。

情報部門の介入に関しては、大府では複数課にまたがるものについては主体的に導入にかかわっています。

（知立市）

研究会は全庁的に組織を作ったのでしょうか。

（大府市）

関係する課や財政企画で構成されています。

（蒲郡市）
昨年度９課参加で調整会議を行い、先月４業者によるプロポーザルを行った。土木関係が主体として実施し、情報部門は審査には参加したが基本的にはアドバイザー的にかかわった。
（知立市）
システム統合のしやすさを重視して仕様を作成したのでしょうか。また、公開する仕様になっていますか。
（蒲郡市）
課によって仕様が細かい場合と、そうでない場合があるのでバランスをとることを重視しました。システムは公開する仕様になっています。
（議長）
刈谷市は段階を踏んで計画的にこなしているようなのでその辺りも踏まえて説明をお願いします
（刈谷市）
順次導入しているが、もともと個別を利用していて、別で統合型を導入している。
情報化推進部会の事務局は情報部門が担当して大きくかかわっているような状況。公開については、ほんの一部だけしか公開していないので、今後はもっと公開していくべきと思っている。
（知立市）
ＧＩＳの部会は担当者レベルの会なのでしょうか。
（刈谷市）
詳細は分からないが補佐クラスが出席したのではないかと思われます。
（犬山市）
２４年度に都市計画と農家と税の部分を統合して導入したが、計画がなくなし崩し的に導入してしまい、その他は個別に導入している。
結局自分たちが使いやすければ統合しなくていいという原課の考えがあり情報部門としては強引に統合型に変えさせるよう介入すべきか悩んでいる。
情報管理部門は数年たつと基幹系に偏るためＧＩＳについては苦手な分野といえます。実際今回導入される市と導入して落ち着いている市で、情報部門の介入について思いがあるところがあればお聞きしたい。
（東海市）

１８年度に利用課による運用部会で検討を進めた。付加価値を高めるため公開型を採用し、クラウドは利用しているが個人情報は庁内サーバーで管理するよう使い分けをしている。

住宅地図など毎年更新が必要なので、今のところ個別導入の要望もなく、将来的には一本化していきたい。

（春日井市）

公開型は２３年からパスコで導入し、昨年の１０月からＬＧＷＡＮクラウド利用をしている。

情報部門の役割としては　先進的なことや契約も含めて大きくかかわり、ワーキンググループなども情報部門が主導している。

中部大学から防災に関してＧＩＳで共同研究をしようということで中部大学にサーバーを置いている。

（瀬戸市）

導入検討中ですが、地図のレイヤの縮尺について、市内全域をどのようなレベルで導入されているか知りたいので、また個別に伺います。

個別がいいのか統合型がいいのか、もう一度検討している中で縮尺の問題についても解決していこうと考えている。

（知多市）

知多市では１７年度に検討したが、需要がないということで全庁的な取り組みにはならず、今は個別でＧＩＳを運用している。

導入していないところでこういった理由で導入していないという発言があればお聞きしたい。

（名古屋市）

約１０年前に検討を行ったが、既に各部署で導入されていたので統合に向けて全庁的な組織を立ち上げて部会形式で検討したが、費用対効果や利用部門の要求が違うためまとまらなかった､その後統合はできないということで、話はでるが今は検討をしていない。

全体としては違う意味でオープンデータのからみで市民提供の部分で検討している。地図の情報自体は公開できるものと思われるので、オープンデータはまた次回以降検討できればいいと思う。

（愛知県）

愛知県では統合型は庁内向けで５６、公開型で約４０あり、個別も約１９

残っていて統合は難しい状況。

整備検討状況としては、１２年にＧＩＳ検討会を立ち上げ、システムは稼働しているが、最近は安定稼働しているため会議を開いていない。

システム更新は一般競争入札で利用課で聞き取り仕様書を作成し、８月開札、２月更新の予定。

オープンデータとしてはＣＳＶデータを提供するなどを取り組んでいる。

（２）その他

（知立市）

業者が中日本航空で地図業者の性格が強くシステム的な部分が弱いので、機器やソフトを入れる段取りがうまくいかずに困っているので、どのような対策があるか聞きたい。

（犬山市）

システムはシステム業者が得意で、地図は地図専門で両方得意なところはないので、システムと提携してる地図業者との組み合わせで担当課に好き嫌いがあるとは思います。

以上で、議長としての役目を終わらせていただく。ご協力ありがとうございました。

６　次年度当番市の決定

慣例に基づき、市制施行順で知立市とさせていただく。

（異議なし）

７　閉　　会